

日本学術会議・地域研究委員会・アジアの地域協力の学術的ネットワーク構築分科会

第25期・第5回

議事要旨

開催日時：2022年9月7日（水）、13:00-15:00

場所：遠隔会議

出席者(敬称略)：羽場久美子、大日方純夫、我部政明、貴志俊彦、三重野文晴、小長谷有紀、金山直樹

欠席者(敬称略)：木宮正史、小谷汪之

前回の議事録の確認

第4回分科会の議事要旨の確認を行った。

議題

(1) これまでの活動についての報告と確認

- ・ 本分科会による特集が掲載された『学術の動向』2022年8月号の刊行について報告された。
- ・ その他昨年度と今年度前半の活動について報告確認された。

(2) 各委員の研究活動の報告

- ・ 出席委員からそれぞれ、最近の出版活動、研究プロジェクトの進捗等研究活動についての報告と意見交換が行われた。

(3) 今後の分科会の活動1：2023年2-3月、本分科会主催のシンポジウム／フォーラムを開催する可能性について

(4) 今後の分科会の活動2：世界国際関係学会（ISA）アジア・パシフィック会議（2023年8月、早稲田大学）にパネル参加する可能性について

- ・ (3) および(4)の2つのイベントの実施可能性と、それを踏まえて出版の可能性について審議した結果、以下の結論を得た。
 - 2つのイベントを実施することはキャパシティー不足となる懸念があるので、(4)の実施を優先して目指すこととする。単独の分科会での実施に拘らず他委員会・分科会とのネットワークを活用することも考慮する。
 - (3)の実施の可能性については、引き続き検討する。いずれにせよこの時期に分科会を開催し、(4)との関係も考慮して、必要に応じ分科会の規模・公開性を調整する余地を残す。
 - 今般の『学術の動向』の特集と(4)の実施を踏まえて、出版成果を目指す。

(5) 出版計画

- ・ (4)の実施を踏まえて、出版に向けての調整をすすめる。想定される読者層と出版媒体（新書、学術出版など）を検討していく。必ずしも新書にこだわらない。

(6) 大型基礎研究のテーマ要請について

- ・ 小長谷委員から、大型基礎研究テーマへの応募への考え方について説明され、それを踏まえて当分科会の対応を検討した。その結果、本分科会からこれに応募を行うよりも、各委員の学術会議

内外の研究ネットワークを踏まえて、大型の科学研究費補助金に積極的に応募することを優先して検討を進めることが合意された

以上